

台湾で初めてアフリカ豚熱の感染を確認 アジア地域でのアフリカ豚熱清浄国はわが国だけになりました

アフリカ豚熱
関連情報 No.7



令和7年10月21日、台湾中部の台中市の養豚場（飼養頭数300頭の一貫経営農場、**食品残さ給与**）で、アフリカ豚熱（ASF）の発生が確認されました。

本事例は、**台湾で初めてのASF感染**です。

台湾では、ASF発生後、豚の移動・と畜の禁止、食品残さの使用禁止などのまん延防止対策が講じられています。台湾農業部は、これまでに当該農場以外での感染は確認されていないとの認識を示しています。

わが国は、台湾でのASFの発生を受け、台湾からの全到着便への家畜防疫官の配置、動植物検疫探知犬の出動回数を増やす等の水際対策の強化を行っています。また、農場におけるASFウイルスの侵入防止対策は、①飼養衛生管理基準の遵守の徹底、②ASF発生地域への不要不急の渡航の自粛、③海外従業員等に対する海外からの肉製品等の持ち込み禁止、④飼養する家畜に肉を扱う事業所等から排出された食品循環資源を原材料とする飼料を給与している農場は、適正に処理※されたものを給与することが重要です。

※攪拌しながら90℃以上60分間以上の加熱処理が行われ、加熱後の飼料と加熱前の原材料等と

交差汚染がないこと。

農林水産省 HP [アフリカ豚熱（ASF）について：農林水産省](#)も併せてご確認ください。

【養豚場におけるASF発生予防のポイント（農林水産省 HP より）】

アフリカ豚熱 **MAFF 農林水産省**

そこまできています
発生を未然に防ぐことが日本の養豚を守るために極めて重要です。

皮膚の出血や全身のブドウ球菌が特徴。他には食欲不振・沈黙等。

農場へのウイルスの侵入を防ぐために、**すぐに農場の衛生対策を再点検！**

- 致死率はほぼ**100%**
- 中国で発生による死亡・殺処分により豚の飼養頭数が**4割減少**
- 周辺農場も殺処分の可能性

有効な治療法やワクチンはない

2019 日本から50kmしか離れていない釜山で発生中！

2022 釜山

2024 釜山

釜山空港付近で発生が続いています。

釜山国際空港

釜山地産物検査ターミナル

釜山、新川、大田

1 野生動物対策

農場を囲う柵を設置するとともに、破損などがないか定期的に点検。

農場辺縁を含め敷地内の草刈りや枝の剪定を行い、野生動物が隠れる場所を作らない。

死亡家畜は野生動物を誘引しないよう適切に保管。

養豚場の重点対策

MAFF 農林水産省

2 農場内や進入車両の消毒

畜舎周囲・農場外縁部に定期的に石灰を散布。

車両の洗浄・消毒も忘れない。車体、タイヤ周りや溝の汚れをしっかりと落とす。

3 更衣・履き替えの徹底

洗浄・消毒された衛生的な衣服や長靴を用意。

長靴は履き替えを徹底し、使用後は洗浄してから消毒し、消毒薬は定期的、または汚れた都度交換。

豚肉・豚肉製品を絶対に豚に与えない・捨てない！
従業員にも周知・徹底を！